

# 農業、食

## 思い語る

(中)

紙 農業、食料を守ろう  
という世界の流れに逆行しているのが日本の政治です。参院で十四日成立した農政「改革」関連法案は、「品目横断的経営安定対策」として、これまで全農家を対象に行ってきた米、

政を根本から変える大変な内容です。私たち農民連は、農産物の完全自由化に向けて農民の約九割を切り捨てる農業大リストラ計画だと批判し、撤回を要求しています。

### 一部の担い手に

紙 品目横断対策は一部の担い手に農地を集約することをねらいとするものですが、担い手だけで地域農業を支えるのは無理です。

紙 品目横断対策は一部の担い手に農地を集約することをねらいとするものですが、担い手だけで地域農業を支えるのは無理です。

佐々木 たしかに戦後農

道は十稔以上、集落営農

### 農政「改革」

参院議員 紙智子さん

農民連会長 佐々木健三さん

## 佐々木 地域に亀裂を生み出す



では二十稔以上の経営規模で大半の農家が農政から排除されます。同じ大豆を作っても補助金が出る農家と出ない農家が出てくるわけで大きな混乱が予想されます。地域に亀裂を生み出し、わずか40%（カロリベース）の食料自給率はさらに低下するでしょう。

### WTOに合わせ

紙 担い手の場合、集落営農で補助金支給の対象は特定農業団体とされ、対象地域の農地の三分の二以上を集積しなければなりません。私は、集落営農計画の「先進県」といわれる岩手県の花巻市で農家や農業団体の声を聞きましたが、集落営農への疑問や不安が強く、担い手になる人がい

産物価格に過大見積もりがあります。山形県の農林水産振興計画では、米の価格は一俵（六十キ）一万七千円です。米をめぐっては、WTOのもとでミニマム・アクセス米という外国米がどんどん輸入されています。消費者に不評で、百七十万トの輸入米が不良在庫になっています。

## 紙 自由化容認では守れない

紙 北海道では経営規模はクリアしているのでは、といわれます。でも、優良農家からも「この先、米の価格や生産物価格が下がったらやっていけない」と強い不安の声が出ています。佐々木 集落営農計画では、担い手に他産業並みの所得を保証するといっています。でも、前提となる農